

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

SMFG India Credit Company Limited（証券コード：ー）

【据置】

外貨建長期発行体格付 格付の見通し	AA- 安定的
----------------------	------------

■格付事由

- (1) SMFG India Credit Company (SMICC) は SMBC グループのノンバンクであり、インドにおいて主に個人および中小企業向け融資を手掛けている。格付は、SMBC グループのグループ信用力「AA」相当を基点として評価されている。三井住友フィナンシャルグループ (SMFG) が SMICC の議決権の 100% を有し、経営管理やリスク管理などはグループ一体で行われている。役員の派遣などの人的関与も含め、SMFG の支配・関与度は相応に強い。SMBC グループはアジアのマルチフランチャイズ戦略を推進しており、SMICC はインド事業における中核を担っていることから SMFG における経営的重要度に変化はない。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。なお、インド国外の親会社である SMFG からの支援の蓋然性は高いと見込まれ、格付はインド共和国のカントリーシーリング（「A-」）を上回っている。SMBC グループは 25 年 4 月にインド本部を設置し、インド事業の成長加速や業務効率化に取り組んでおり、JCR は今後の進捗に注目している。
- (2) インド経済は 25 年も高成長が続き、インドの消費者信用市場は一貫して拡大を続けた。一方、マイクロファイナンス分野の貸出残高については、グループローン（複数人を 1 つのグループとみなして実行する融資）を中心に、高リスク貸付に対する慎重化や与信基準の見直しを背景として調整局面に入っている。SMICC はインド全域に拠点を構え、25/3 期末には 1,008 支店まで拡大したが、与信態勢の見直しおよびリスク管理強化の一環として店舗配置の再編を進め、25 年 9 月末は 989 支店となった。
- (3) 国内市場の拡大により SMICC の貸出残高は成長を続け、25/3 期の連結営業収益は 1,013 億印ルピーと前期比 25% の大幅増収となった。利益面では、マイクロファイナンス分野を中心とした回収費用や法務費用の増加を主因として、連結純利益が 44 億印ルピーと前期比 34% の減益となった。26/3 期上半期も同様の傾向が続き、営業収益は前年同期比 25% 増の 518 億印ルピーであったが、与信費用の増加により純利益は同比 97% 減の 0.8 億印ルピーにとどまった。もっとも、貸出ポートフォリオに占めるグループローン残高は約 3% へ低下している。マイクロファイナンス分野を中心とした与信費用増加圧力は概ね一巡したとみられ、今後の収益性は上向いていくと JCR はみている。
- (4) SMFG からの資金支援は手厚く、24 年 12 月に 3.5 億米ドルの増資が行われたほか、25 年 6 月および 26 年 1 月に合計 3.8 億米ドルのローンが実行された。25 年 9 月末の単体自己資本比率は 19.6% と、国内規制で要求される 15% を上回る十分な水準を確保している。与信は小口分散されており、不動産などにより保全されている貸出の割合は約 5 割となっている。25 年 3 月末における不良債権比率はネットで 1.3% と比較的良好的な水準にある。貸出資産の拡大ペースが利益による自己資本の積み上げペースを上回る状況が継続しているが、財務構成の変化は資金調達コストに直結するため、親会社である SMFG にとって SMICC の財務を健全に保つ強い動機がある。SMFG による SMICC 支援の蓋然性は高く、財務の健全性は今後も維持されていくと JCR ではみている。

（担当）増田 篤・伊藤 信太郎

■ 格付対象

発行体：SMFG India Credit Company Limited

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年2月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「消費者金融」（2022年6月21日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） SMFG India Credit Company Limited
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル